

平成27年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 平成27年4月1日 ～ 平成28年3月31日

施設状況

| | | | |
|------------|--|---------|----------------------|
| 施設名称 | ふじみ野市立子育てふれあい広場 | 所管課 | 子育て支援課 |
| 指定管理者名 | 社会福祉法人むさし野たんぽぽ会 | 施設分類 | 子育て支援施設 |
| 指定期間 | 平成26年4月1日 ～ 平成30年3月31日 | 利用料金制導入 | 一部利用料金制(利用料金及び指定管理料) |
| 導入年月日 | 平成18年9月1日 | 指定回数 | 3回 |
| 施設設置目的 | 子育てふれあい広場は、乳幼児を子育て中の家庭に交流の場を提供するとともに、子育てに関する情報の提供、助言及び乳幼児の一時預かりの実施など、子育て家庭に対する総合的な支援を行うことにより、地域における子育て基盤を形成し、誰もが安心して子育てができるまちの実現をめざし設置。 | | |
| 施設概要 | 【開設】平成18年9月1日 【敷地面積・延床面積】295.88㎡【施設内要】一時預かり室80.97㎡、つどいの広場107.71㎡事務室17.35㎡、幼児用便所18.24㎡、調理室4.38㎡、授乳室5.26㎡、休憩・更衣室10.75平方メートル、前室51.22㎡ | | |
| 管理運営の基本方針 | ①子育てふれあい広場の設置目的に照らし適切な管理運営を行う。②公の施設であることを念頭に、公平な運営に努める。③利用者の意見を反映する。④個人情報保護を徹底する。⑤苦情解決体制をとり、サービス向上に努める。⑥効率的な管理運営に努める。⑦管理責任者及び火元責任者を配置する。⑧従事者の研修を行い資質向上に努める。⑨健康診断を行い、健康管理に努める。⑩安全管理に配慮し火災、損傷を防止し財産の保全を図るとともに利用者及び業務従事者の安全確保に努める。⑪衛生管理に配慮し、快適な状態の保持に努める。⑫火災、事故等の緊急事態に備え防災計画を定め避難、救出等の訓練を定期的実施する。 | | |
| 指定管理者の主な業務 | ①子育てふれあい広場の維持管理。②子育て家庭に対する交流の場。(つどいの広場)の提供及び相談業務。(各種行事の企画実施。子育てに関する講習会の開催。子育てグループの育成等。)③乳幼児の一時預り業務。④子育て支援ネットワークの構築。 | | |

【評価項目】

【評価基準】 5:目標値以上の結果で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが大きいと評価できる場合/4:目標値以上の結果(5以外)/3:目標値に達している場合/2:目標値をやや下回る場合/目標値を大きく下回る場合

1 指定管理者の健全性

| | |
|--|----|
| 施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか また、団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか | 評価 |
| 特記事項 (問題等があった場合) 市の基本方針、事業方針に沿った運営管理は実施されている。取り組み活動が同じ内容が繰り返されているという意見があるが、すべての活動は継続と連携の中で、子育て家庭にとって取り入れてほしい活動で構成されていること、要望やニーズを取り入れて活動内容上に変化が加えられている。 | 3 |

2 施設の有効活用

| 施設利用状況 | 利用区分等 | 予定(計画・目標) 単位 | 利用実績 単位 | 対前年比 | 年度目標達成率 | 評価 |
|--|--|--|--|------------------|---------|----|
| | つどいの広場 | 26,000 | 24,177 | 92.9% | 93.0% | |
| 乳幼児の一時保育 | 1,200 | 1,233 | 102.8% | 102.8% | | |
| 子育て相談 | 300 | 201 | 67.0% | 67.0% | | |
| (特記事項) 支援の場が増えたり商業施設などの利用も増え、いろいろな場所に分散して減少してきた。利用者の年齢が0、1歳児が中心となり取り組みや事業への参加も低年齢化した。 | | | | | | |
| 事業実施内容 | 区分 | 協定内容・指定管理者提案 | | 追加事業、未実施事業及びその理由 | | |
| | 市指定事業 | <ul style="list-style-type: none"> ふれあい広場の維持管理に関すること 子育て家庭に対する交流の場の提供に関すること 子育てに関する情報の提供に関すること 子育てに関する相談業務に関すること 子育て及び子育て支援に関する講習の実施に関すること 子育て家庭の支援に関する関係機関との連携に関すること 乳幼児の一時預かりに関すること | | 未実施事項はない。 | | |
| 自主事業 | <ul style="list-style-type: none"> 父親支援講座と市内父親支援グループとの連携を図った。 「良いおもちゃを広げようとする市内のグループと共同で「おもちゃの広場」を2回取り組みました。「子どもの発達にあった良いおもちゃってなーに」がテーマ。 赤ちゃん体操、親子リズム、わらべ歌遊び、読み聞かせ、タンграм、親子バンド活動、ママ友交流、人形劇 子育て支援講座9回開催。 今年度言語聴覚・心理の専門家による子どもの育ち・発達講座を連続で2回開いた。 | | 父親支援講座から生まれた市内の父親のグループ活動が生まれたので、父親支援講座を続行し初めてのお父さん講座に焦点を置いた講座に徹し、市内生まれた父親の子育て支援グループに繋がられるよう、グループ紹介なども講座に含めた。支援グループの育成と講座の連携・交流を図った。合同イベント。 ～子育てを楽しく～心の健康につながるヒント・・・脳のお話から、早寝早起きの習慣の大切さ、食事等、科学的根拠も含めた講座になった。「参考になった」「今後に生かしたい」「考える機会になった」等反応はまずまず。 | | | |
| サービス向上の取組 | ①講座を含め、すべての取り組みでは利用者のアンケートを実施し、内容を含め次年度の取り組みに生かしている。②苦情があった場合施設長は苦情解決責任者として真意を調査の上全職員で話し合いを持ち対応できるようにしている。 | | | | | |

3 利用者評価

| 区分 | 内容 | 評価 |
|-----------------|---|----|
| 利用者の要望把握 | (1) 利用者要望把握方法 全事業アンケート・要望等実施。 | 4 |
| | (2) 調査、会議等の内容 ①利用者のアンケート内容については2月次年度事業実施計画に生かす職員会議で検討、次年度取り組みに生かす。②毎月第一木曜日(休館日)に職員の運営会議を実施し次月の運営確認、問題点、職員学習会にて、利用者の要望についても話し合いを持ち運営に生かせるようにしている。③その他年1回、広場利用者を対象に全体アンケートを実施。調査項目は利用回数、利用内容、よかったこと、不便を感じた事他。【調査方法】利用者に配布、回収 【調査項目】接客態度、施設管理、申し込み受付方法等 | |
| | (3) 調査、会議等の結果 [実施時期]行事ごと随時と年1回の全体アンケート 【調査項目】 接客態度 良好 施設管理 良好 受付方法 良好 | |
| 利用者からの評価・要望・苦情等 | (1) 良好とする評価 ・施設がきれい ・手作りのおもちゃがいい。 ・職員が優しい ・これからも講座を開いてほしい。 ・いつでも行く事ができて、相談にものってもらえる。 | 4 |
| | (2) 苦情・改善等の要望事項 【集いの広場】 授乳室がもっとあったらいい。ヨガを完全保育にしてほしい。 【一時保育】 当日申し込みでも受けてほしい。 《対応措置》 ・上記内容に対しては対応できていない。(建物の構造上、及び当日受付では保育士のシフトが組めない等の理由による。) ・苦情解決簿の作成と職員会議で苦情内容の共有をする。 | |

4 事業収支

| 事業収支 (単位:円) | 指定管理者収支(平成27年度) | | | | 市の収支 | | | | 評価 |
|----------------------------|-----------------|------------|--------|------------|--------------|----------|---------------|----------|------------|
| | 年度計画額 | | 収支実績額 | | 平成27年度決算 | | 平成26年度決算(前年度) | | |
| | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | 項目 | 金額 | |
| 収入 | 利用料金 | 2,820,000 | 利用料金 | 2,595,850 | 歳入 | 施設使用料 | | 施設使用料 | |
| | 指定管理料 | 25,500,000 | 指定管理料 | 25,500,000 | | 行政財産使用料 | | 行政財産使用料 | |
| | 自主事業※ | | 自主事業※ | | | 国庫支出金 | 3,977,333 | 国庫支出金 | 4,852,000 |
| | その他収入 | | その他収入 | 35,941 | | 県支出金 | 3,977,333 | 県支出金 | |
| | | | | | | その他 | | その他 | |
| | 計 | 28,320,000 | 計 | 28,131,791 | | 計 | 7,954,666 | 計 | 4,852,000 |
| 支出 | 人件費 | 23,968,000 | 人件費 | 24,428,032 | 歳出 | 修繕料 | | 修繕料 | |
| | 設備管理費 | 1,479,000 | 設備管理費 | 1,134,936 | | 保険料 | | 保険料 | |
| | 備品購入費 | 0 | 備品購入費 | 51,884 | | 指定管理料 | 25,500,000 | 指定管理料 | 25,500,000 |
| | 修繕費 | 120,000 | 修繕費 | 0 | | 業務委託料 | | 業務委託料 | |
| | 光熱水費 | 800,000 | 光熱水費 | 744,279 | | 土地・建物賃借料 | | 土地・建物賃借料 | |
| | 事業費 | 330,000 | 事業費 | 361,294 | | その他 | | その他 | |
| | 事務経費 | 240,000 | 事務経費 | 222,084 | | | | | |
| | 本社経費 | | 本社経費 | | | | | | |
| | その他 | 1,383,000 | その他 | 1,189,282 | | 計 | 25,500,000 | 計 | 25,500,000 |
| | 計 | 28,320,000 | 計 | 28,131,791 | | | | | |
| 損益 | 0 | | 0 | 差引 | △ 17,545,334 | | △ 20,648,000 | | |
| ※自主事業は 該当箇所のみ 記載すること | 収入 | | 収入 | | | | | | |
| | 支出 | | 支出 | | | | | | |
| | 自主事業損益 | 0 | 自主事業損益 | 0 | | | | | |
| 人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】 | | | | | | | | 86.8% | |
| 本社経費が、計画額と実績額で異なる理由 | | | | | | | | | |

5 管理運営全般 ※すべて「適」で「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

| 区分 | 確認内容 | | 適否欄 | 評価 |
|------------|---|------------|-----|----|
| 職員配置 | 1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか | | 適 | 3 |
| | 配置実績 | 職員7人、パート3人 | | |
| | 2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか | | | |
| | 3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか | | | |
| | 4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか | | | |
| 平等利用 | 1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか | | 適 | 3 |
| | 2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか | | | |
| 経理 | 1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか | | 適 | 3 |
| | 2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか | | | |
| 施設・備品の維持管理 | 1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか | | 適 | 3 |
| | 2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか | | | |
| その他 | 1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか | | 適 | 3 |
| | 2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか | | | |

6 危機管理体制 ※すべて「適」で「3」。1箇所でも空欄の場合は「1」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載すること。

| 区分 | 確認内容 | | 適否欄 | 評価 |
|----------|--|--|-----|----|
| 安全対策 | 1 危機管理マニュアルが整備されているか | | 適 | 3 |
| | 2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか | | | |
| | 3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか | | | |
| 個人情報保護 | 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか | | 適 | 3 |
| 防犯、防災対策 | 1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか | | 適 | |
| | 2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか | | | |
| 緊急時対応、体制 | 1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか | | 適 | 3 |
| | 2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか | | | |

7 施設の設置目的の達成に関する取組

| 区分 | 具体的な取組の状況・実績 | 評価 |
|---------------------|---|----|
| 父親支援講座 支援グループの育成 | ふれあい広場の「父親支援講座」を続行しながら、「コネクターチャン」の活動につながるよう連携し、グループ紹介も入れている。初めての父ちゃんは講座を通して、グループ活動につながるか否かは自由というスタンス。このほうが父ちゃんのグループの自主活動も育つ。 | 3 |
| ママ友グループの育成 | “35歳以上で初ママのつどい”のママ友グループの育成を引き続き実施。数組のママ友グループが生まれている。 | |
| 子育て講座 | <ul style="list-style-type: none"> 子育て講座は別室(一時保育室)で保育を行い、講座に集中できるようにした。保育ボランティアの応援もお願いした。 「夏の過ごし方」「小児救急」「絵本講座」「父親支援講座」の他 子どもの発達をテーマにした連続講座を実施した。 「子育てを楽しく一心の健康」:講師 毛塚真知子(言語聴覚士) | |

総合評価

【総合評価】 S:極めて優れている/A:優れている/B:やや優れている/C:適正である/D:努力が必要である/E:改善が必要である

| 評価項目 | | 評価 | 総合評価 | | 子育て支援施設 |
|--------------------|--------------------------------------|--|--|--|---------|
| 総合評価 | 指定管理者の健全性 | 3 | B | | |
| | 施設の有効活用 | 3 | | | |
| | 利用者評価 | 4 | | | |
| | 事業収支 | 4 | | | |
| | 管理運営全般 | 3 | | | |
| | 危機管理体制 | 3 | | | |
| | 施設の設置目的の達成 | 4 | | | |
| | 評価理由 | <p>相対的に基本協定書の取り決め及び仕様書の内容により管理運営を実施している。コスト削減にも積極的に取り組んでおり安心できる人気の施設となっている。定期的に子育て支援拠点会議にも出席しており、市との連携も図られている。子育て講座なども組み合わせることで市内子育て支援グループの育成にも貢献している。</p> | | | |
| 取組・改善案等 (施設所管課) | 前年度からの課題・改善事項 | 実施状況 | 次年度へ向けての目標・取組・改善事項 | | |
| | ①健常児対象の子どもの発達・発育に関する専門講座を取り組めるようにする。 | 平成28年2月2回連続講座を実施した。 | 引き続き実施する。父母の出産時から幼児の成長に焦点を合わせ、現在の悩みに沿った効果的講座を準備していく。 | | |

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

① サービス向上に向けての取組

B 計画は前年度実績を参考に、利用者の要望を取り入れ、力を入れたい事業にテコ入れする形で年度計画を立てているが、利用する父母との連携した事業計画が具体化されている。平成26年度子育て支援拠点施設がふじみ野市で9か所になったこと児童館でも取り組めるようになったことなどで利用者の分散化が進むと予測していたが予想に反して急増した。平成27年度にその影響がみられる。「集いの広場」利用者が目標の93%になり、「一時保育利用者」が目標の67%実績にとどまった。保育園の一時保育なども充実した感があり、むしろ喜ばしいことと考えている。

② 業務の効率化に対する取組

C 非常勤を含めすべての職員が保育士ないし幼稚園教諭資格を有し、保育園経験も持った職員で構成されている。同じ職員が複数の活動を兼任・担当し、事業の効率を上げている。

③ その他

(2) 管理業務実施上の課題

- ① 一時保育室がワンフロアでお昼寝などの区切りができないが、ベッドなどをなくし畳を敷くことで対応した。
- ② 利用者から授乳室を増やしてほしいという要望は出されているが、建物の構造上難しい。
- ③ 一時保育利用料の若干の値上げを市に申請しているが、回答がないのでそのままにしている。

(3) 次年度以降の取組

- ・子育て支援講座の充実